

やさい週間情報(第27号)

平成29年10月13日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	4,500~4,300	4,500~4,300	—	1本売り (2L・L) 398~298円	<p>本県産中心に北海道産の販売。 28年産の洗浄が終盤となり、本県産の入荷は幾分落ち着いてきているものの、北海道産の潤沢な入荷が続いていることや、安価な転送品の出回りから流通在庫が多く、加えて両産地の品質不良も見られていることから、引続き販売環境の悪い状況が続いている。 気温の低下から消費が減退するなかで、都内各地での消費宣伝会を実施しており、売価を下げてもらうことを要請しながら、荷動きの良化に努める。 また来月初旬には29年産の入荷が見込まれることから、可能な限り選果の前進化をお願いしたい。</p>
		A3L	4,500~4,300	4,500~4,300			
		A2L	4,200~4,000	4,200~4,000			
		A L	4,000~3,800	4,000~3,800			
		A M	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B4L	4,200~4,000	4,200~4,000			
		B3L	4,200~4,000	4,200~4,000			
		B2L	4,000~3,800	4,000~3,800			
		B L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B M	3,300~3,000	3,300~3,000			
		C2L	3,300~3,000	3,300~3,000			
		C L	3,000~2,800	3,000~2,800			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	4,500~	4,500~	多い	1本売り 398~298円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。 今週もながいも全体の流通量の多さや傷みに伴う仲卸の買い控え等から厳しい販売環境が続いており、市況は先週よりも一段下げた販売となっている。 一部量販店では末端売価を下げる動きも見られたことから、B品の太物を中心に少しずつ発注も入ってきているものの、入荷比率の高いC品を中心に依然として下げ基調での販売が続いている。 来週以降、今週に比べ出荷量がやや落ち着く見込みとなっているものの、引続き仲卸在庫は多く厳しい販売が続く見通し。</p>
		A3L	4,500~	4,500~			
		A2L	4,000~	4,000~			
		A L	3,800~	3,800~			
		A M	3,500~	3,500~			
		B4L	3,500~	3,500~			
		B3L	3,500~	3,500~			
		B2L	3,300~	3,300~			
		B L	3,200~	3,200~			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~	3,000~			
		C L	2,500~	2,500~			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,000～ 4,000～ 3,800～ 3,600～ 3,500～ 3,500～ 3,000～ 2,800～ 2,500～ 2,000～	4,000～ 4,000～ 3,800～ 3,600～ 3,500～ 3,500～ 3,000～ 2,800～ 2,500～ 2,000～		カット 88～59円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 引続き安価な転送品とイタミが多く、厳しい販売環境となっている。また、高止まりしていた末端売価が徐々に下がってきたものの、雨の影響を大きく受けたことが原因と思われるイタミの発生率の高さから、C品の販売に苦戦をしいられている。ただ、M級（1本売り）の注文は増えており、部分的かつ少しずつではあるが荷動きは回復してきている。 来週については、価格は弱保合推移となる見込みだが、消費宣伝会を積極的に開催し荷動きの回復に努める。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	5,000～4,800 5,000～4,800 4,500～4,300 4,200～4,000 4,500～4,300 4,500～4,300 4,200～4,000 3,800～3,600 3,300～3,000	4,800～4,600 4,800～4,600 4,200～4,000 4,000～3,800 4,200～4,000 4,200～4,000 4,000～3,800 3,600～3,400 3,000～2,800		カット 100g 88～68円	北海道産は、28年産が終了となるJAもでてくるが、帯広川西の管内への入荷は10月第4週までの見込み。 9月以降流通量が増加した中で、売場の狭さと流通在庫の多さから価格は下げ基調での販売が続いており、また、イタミの発生から在庫を抱えない傾向となっている。 来週については、柔軟な価格帯によって売価の下げを図る。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	4,500～4,000 4,500～4,000 4,200～3,800 4,000～3,500 4,300～3,600 4,300～3,600 4,000～3,200 3,700～3,000 3,500～3,000 3,000～2,500	4,500～4,000 4,500～4,000 4,200～3,800 4,000～3,500 4,300～3,600 4,300～3,600 4,000～3,200 3,700～3,000 3,500～3,000 3,000～2,500	なし	1本売り 480～円 カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 本県産の入荷量が増量となったこと、気温の低下から荷動きも鈍くなっていることから、市況は全体的に一段下げ。安価な転送品の増加や、イタミ等の発生も、仲卸・量販店の買い控えを助長している。 来週については、東北市場への入荷は変わらないものの、荷動きの緩慢な状況は続くものと思われ、市況は弱含み推移の見込み。

品名 にんにく No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	2,600~2,500 2,200~2,000 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 今週に入り本県産の入荷が幾分増え、商系業者の出荷もあつたが全体的な不足感は続いており、堅調な価格での販売となっている。特に出荷比率の低い2L級は強めの展開だが、出荷比率の高いM級についてはやや弱めの相場展開となっている。 来週からは徐々に出荷先、量とも増えていく見込みだが、各社からの出荷の要望は引続き強いことから、早期の出荷をお願いしたい。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,600~ 2,400~ 2,000~1,800 2,400~ 2,200~ 1,800~1,600	2,600~ 2,400~ 2,000~1,800 2,400~ 2,200~ 1,800~1,600	少ない	L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 今週も引続き出荷量が少なく、市場によっては入荷が全くないところもあり、全体的な不足感は続いている。市況については、2L・L級を中心に強含みでの販売となっている。 来週以降、徐々に出荷量が増えてくる見込みとなっているものの、依然引合いは強く堅調な販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,400~2,000 1,800~	2,500~ 2,400~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 今週から入荷量は幾分増えたものの、不足感は払拭できておらず、引合いは非常に強い状況となっており、堅調な販売が続いている。さらに、抱え込んでいたM級の在庫は、全体量の少なさから、ほぼない状況となっている。 来週については、入荷量はさらに増加するものの、引続き堅調な販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の管内への冷蔵品の入荷が来週からとなり、ほぼ入荷がないことから強めの販売で推移する。 量販店では中国・スペイン産の売場が拡張されていることから、今後、本県産は計画的な出荷量によって売場を拡張させていくことが肝要と思われる。
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,600~2,500 2,300~2,200 1,900~1,800	2,600~2,500 2,300~2,200 1,900~1,800	なし	L 1 P 298 円	引続き、県内市場以外の入荷が無く、不足感が非常に強い。発生率の少ない2L級の引合いが強いが、入荷量が少なすぎるためL級の引合いも強まっている。 本県産の入荷が回復する10月下旬までは、市況は強保合での販売となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 1

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A2L AL AM 群馬県産 AM	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000 800~ 600	1,600~1,500 2,000~1,800 2,200~2,000 800~ 600			<p>本県産中心に北海道産、群馬県産、茨城県産の販売となっている。</p> <p>徐々に本県産の入荷が増加しているものの、総体量は少なく、引合いは強まっている。北海道産については太物中心、本県産についてはM中心の入荷となっており全体的にはバランスのとれた入荷となっている。しかしながら業務関係については、依然として群馬県産・茨城県産の在庫を持ちながらの販売となっているため、3L、2L級を中心にやや弱めの相場展開となっている。</p> <p>量販店の売場は徐々に秋商材へと切り替わっており、徐々に本県産への切り替えが進んでいるため、引き続き継続的な出荷をお願いしたい。</p>
名古屋	本県産 北海道産	A M A 2 M A S A 2 S	2,300~ 2,300~ 2,000~ 1,600~	2,300~ 2,300~ 2,000~ 1,600~		2 M 2 本入 198~178 円	<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。</p> <p>降雨の影響から収穫作業が遅れ、出荷量が増えきらない中、本県産は一定の売場は確保しており、堅調な販売が続いている。</p> <p>来週については、気温の低下が見込まれる中、特売も組まれていることから、引き続き安定した販売が見込まれる。</p>
大阪	北海道産 本県産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,200~2,000 2,200~ 2,000~ 1,800~	1,400~ 1,600~ 1,800~ 2,200~ 2,200~ 2,200~ 1,800~			<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>業務関係で抱えていた太物の在庫も解消され、全体的に荷動きは回復傾向となっている。また、引き続きS・2S級は入荷の割合が低いため他階級に比べると引合いは特に強く、全体的には保合での販売となった。</p> <p>来週については、前段産地の入荷が減っていることと、北海道産の産地が減少したことから、価格は強含みでの推移となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,000~1,800 2,200~2,000 2,300~2,200	2,000~1,800 2,200~2,000 2,300~2,200			<p>九州管内では、関東産地の取扱いは一部で、北海道産は品質の懸念があることから、九州産地からのリレーは本県産となる。</p> <p>九州産地の流通在庫は残るが、来週から本県産の計画的な入荷から量販店の売場は、九州各産地から本県産中心に移行される見込み。</p> <p>連休明けから日中の気温が下がり始め、売場は煮炊きする品目が前面に出てくる見込みから、価格は概ね保合で推移する見込み。</p>

品名 ご ぼ う No. 2

東 北	本 県 産 群 馬 県 産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	600~500 700~ 800~ 1,000~900	600~500 700~ 800~ 1,000~900			本県産および群馬県産の販売。 本県産の入荷量はやや増加しているが、気温の低下から末端の需要が出てきており、荷動きは良好。 絶対量はまだまだ足りないが、今後の増量を見越して、市況は強保合推移に留まっている。 来週についても、本県産の入荷は増加しないことから、市況は強保合推移の見込み。
-----	------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--	--	--

品名 だ い こ ん

事務所	主 力 地	主 力 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小 売 り 状 況	販 売 状 況
東 京	北 海 道 産 本 県 産	A 2 L A L	500~ 600~	500~ 400 600~ 500	—	1 本 158~128 円 ハーフカット 65 円	北海道産中心に本県産、関東近在産の販売となっている。 週後半にかけて出荷産地が重なり、総体量の多い状況で推移したことから販売は苦戦している。 帯広大正地区の出荷が終了したものの、関東近在産の生育が順調で、来週にかけて銚子産が増加、三浦産の個選の入荷も始まることから更なる販売苦戦が予想される。
名古屋	本 県 産 北 海 道 産 新 潟 県 産	A 2 L A L	700~600 800~700	700~ 600 800~ 700		1 本 売 り 198~158 円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 北海道産が徐々に減少しているものの、北陸産や愛知県産が始まっており、潤沢な入荷が続いているうえ、今週は気温が高めで推移したこともあり、末端の荷動きも鈍く厳しい販売となった。 来週についても、各産地とも安定した出荷が見込まれることから、価格については弱含みでの販売が続くものと思われる。
東 北	本 県 産	平 場 A 2 L A L 高 冷 地 A 2 L A L	700~500 800~700 1,000~800 1,100~	700~500 800~700 1,000~800 1,100~	—		本県・北海道産中心の販売。 今週は本県・北海道産ともに潤沢な入荷となったなか、依然として荷動きは鈍く、市況は弱含みとなった。 来週についても、各産地入荷量は変わらないことから、市況は軟調推移となる見込み。

品名 こ か ぶ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	A2L A L 5玉結束	700～500 700～500 60～40	700～500 700～500 60～40			<p>本県産と関東近在産の販売となっている。</p> <p>本県産の順調な入荷量に加え、関東近在産の入荷も多く、総体量が増えてきているため非常に厳しい販売が続いている。</p> <p>来週は本県産の一部規格で出荷調整が行われる為、荷動きの改善に期待しつつ、引続き消費宣伝を実施し本県産の売場の確保に努める。</p>
名古屋	本県産 北陸近在産	A3L 2L	600～500 600～500	500～400 500～400			<p>本県産・北陸近在産中心の販売となっている。</p> <p>今週に入り、北陸近在産の出荷量が徐々に増えている中、本県産も潤沢な入荷が続き、価格については一段下げた販売となった。</p> <p>野菜全体の販売環境が厳しい状況が続いており、来週についても弱めの販売が続く見込み。</p>
大阪	本県産	A3L A2L A L	1,000～600 1,000～800 700～500	1,000～600 1,000～800 700～500			<p>本県産中心の販売。</p> <p>他産地の入荷はわずかにあるものの、本県産の増量から価格は弱含み推移となった。また、量は減っているが品質低下も見えている。</p> <p>来週についても、価格は概ね保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A2L A L	600～500 500～300	600～500 500～300			<p>本県産については、品質低下が続いており売場が縮小傾向にあった中で、入荷量が増加したことから、荷動き鈍く、市況を一段下げた中での販売となった。</p> <p>来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は弱含みで推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,800~ 2,000~1,800 1,800~	1,800~ 2,000~1,800 1,800~			<p>東北産、北海道産と関東近在産の抑制物の販売となっている。</p> <p>今週については東北産地は引続き少なく、関東近在産についてもそれほど多くはない状態で推移したことや、熊本県産の入荷も始まったものの量は増えきらず先週より一段上げての販売となった。</p> <p>来週については気温の低下から関東近在産の入荷もそれほど多くはならない予想のため、保合での販売が見込まれるが、引続き割れ等も多く見られることから選果選別については十分に注意して対応していただきたい。</p>
	関東近在産	A M	1,400~1,200	1,400~1,200			
名古屋	本県産 北海道産 岐阜産	A L A M	1,800~ 1,800~	1,600~ 1,600~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>本県産・岐阜県産ともに気温の低下に伴う着色不良や数量減となる中、今週は気温が高めで推移し積極的に売り込みされたため、安定した販売となった。</p> <p>来週以降、本県産が徐々に数量減となる中、熊本や愛知県産といった秋冬産地が始まり、売場も徐々に切替わっていくことから、弱めの販売となる見込み。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	150~130 160~140 2,000~	140~130 150~140 2,000~			<p>東北産中心に関東近在産、愛知県産の販売。</p> <p>東北以北の産地については入荷が少なく関東近在産、愛知県産の順調な入荷が続いている。総体量は少ないもののパック品・バラ品共に荷動きの鈍い状況となっており先週に引続き厳しい販売環境となっている。</p> <p>来週以降、熊本県産の入荷も始まることから、更なる販売苦戦が予想される。本県産を含む東北各産地については割れ等の品質不良品が増えてきたことから弱含みでの販売となる見込み。</p>

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	東北産 本県産	AL 袋	700～600 50～	700～600 50～			<p>東北各産地中心に茨城県産の販売。 茨城県産秋作についても入荷量が多く、加えて安価な転送品の出回りも多く販売苦戦が続いておりバラ品、袋共に価格を下げながらの販売となっている。 来週についても引続き入荷量が多い見込みに加え、本県産を始め東北各産地では赤果の混入も散見されることから、引続き市況は弱めで推移する見込み。</p>
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ AL 150g袋 AL	1,000～800 30～	800～600 30～			<p>本県産中心に兵庫県産・宮城県産（促成）の販売。 後続産地の入荷も始まってきたことから、産地背景は変化してきている。また、本県産は赤果の混入が依然として見られており、品質を理由に引合いは弱くなってきているため、価格についてはバラ・150g袋のいずれも弱含みでの販売となった。 来週についても、同様の傾向が続き、価格は概ね保合推移となる見込み。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L AL	1,500～1,300 1,700～1,600	1,500～1,300 1,700～1,600			<p>東北各産地中心に、新潟県産の販売。 本県産をはじめとする東北各県産の入荷量はほぼ横ばい推移となっているが、茨城県産、長野県産については、入荷量が多く2L級を中心に荷動きは鈍化しているため、保合での推移となっている。 下旬にかけて各産地増量の見込みのため、相場はやや弱めの販売となることが予想される。そのため、来週以降、都内での消費宣伝会を実施し売場の確保に努める。引続き選別の徹底および検品の強化をお願いします。</p>

品名 きゅうり

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,200~1,000	1,200~1,000			<p>関東近在産に加え東北各県産の販売となっている。</p> <p>気温の低下にともない各東北産地において出荷量は少ないが、今週は関東近在産の気温の上昇にともない抑制作で順調な入荷が続いたため、相場は弱保合での推移となった。</p> <p>来週については、関東近在でも気温の低下が見込まれ、出荷量も幾分落ち着くことが予想され、保合での相場展開が予想される。</p>

品名 にんじん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	北海道	本県産 A 2 L A L A M 北海道産 A 2 L A L A M	500~ 600~ 800~ 600~ 800~ 700 1,000~ 900	500~ 400 600~ 500 800~ 700 600~ 500 700~ 600 900~ 800			<p>北海道中心の入荷となっている。</p> <p>引続き北海道産の順調な入荷が続いている中、今週末から本県産の秋作の入荷が始まった。北海道産については産地での出荷調整や、これまでの天候の影響から製品率が悪く、掘り取りの進捗率もあがっているため、計画よりも早めの切り上がりが見込まれる一方で、千葉県産の生育は順調に推移しており、来週から出荷開始となる見込みで10月下旬にはピークとなることが予想される。</p> <p>下旬にかけ更なる販売苦戦が見込まれるが、出荷期間内での価格変動が大きくならないよう、より正確な情報の共有に努める。</p>